

# 株式会社ムロオ

## 職場実習を実施して障害者雇用を進める 支援機関を利用して企業側の負担を軽減



リストを見ての仕分け作業



経験を通して障害者雇用を語る本社人事係長村田みどりさん

雇用が促進された時期があり、優良企業として表彰されたこともありました。

「当時は比較的雇用がしやすい業務（マーキング：アルファベットによる仕分け、商品の検品）があり、知的・身体障害者の方が勤務していましたが、営業所、センターの統廃合や、雇用しやすい業務が終了したことなどにより、障害者の雇用促進が進まない時期がありました」と、人事部の村田みどり係長は当時を振り返ります。

現在、ムロオでは障害者の雇用促進に積極的に取り組み、全国50の事業所で、合計21人の障害者を雇用しています。内訳は肢体不自由者8名、聴覚障害者1名、内部障害者2名、知的障害者8名、精神障害者2名、これを職種別に見ると、乗務職が2名、作業職13名、事務職が6名で、5つの種類の障害者を、乗務職を含んで幅広く雇用しています。

### ●障害者ができる仕事を見つけることが大切

障害者雇用は、地域社会に貢献するという会社の理念とも合致するため、現在は人事部が本腰を入れて取り組んでいます。地域のハローワークの依頼もあって6、7年前から障害者就業・生活支援センターや養護学校を通じて年1、2回、障害者の「職場実習」を実施しています。そのために

### 現場レポート1



#### 合同面接会に参加して採用されました

5年前、交通事故で右足の大腿部を切断、元の会社に復帰しましたが、不景気の影響などで一部の事務所が閉鎖になり、約1年後に退社しました。ハローワークで職探しをしながら「広島障害者職業能力開発校」に1年間通い、コンピューターのプログラムを学びました。就学中に県の合同面接会に参加し、平成18年9月からここに勤めています。パート雇用で午前、午後5時の就業時間を選択するよう提示されましたが、長く働きたかった

イオン広島XDセンターでパソコン入力業務 岡崎孝志さん 下肢障害3級

ので8時から17時のフルタイムでお願いしました。車で通勤する際の駐車場は、必要な場合は入り口近くに停められるよう配慮してもらいました。

入力業務は、経験がなかったので一番遅いと思いますが、とにかく一生懸命やる、間違わないよう正確にやることを心掛けています。この仕事が向いているとは思えなかったのですが、自分を変えないといけなから、やろうと決めました。

ものをつくるのが好きです。座ってやれるものという条件で考えれば、コンピューター関係ではCADに興味がありますので、将来はそんなこともできればいいと思っています。



正確さが要求される入力業務

### ●各事業所へアンケートを実施

障害者の雇用を促進するために、ムロオではまず、各事業所へ雇用の義務と現状を周知することから始めました。事業所長へ人事部が独自に作成した「障害者雇用の状況調査について」というアンケートを送り、事業所ごとの社員の把握を図りました。障害者の自己申告がない場合もあったからです。

アンケートの結果を見て、障害者を雇用した実績のない事業所には、人事部が同席して障害者の職場実習を実施しました。障害者を雇用することは社会的責任を果たすことという意識を、各事業所の担当者に持たせることができたと言います。

### 雇用管理のポイント1

イオン広島XDセンター



#### 不都合が起きたら話し合いで解決します

副センター長 宅見周平さん

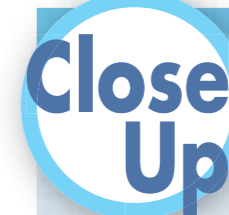
合同面接会の後、試用雇用期間を経て受け入れました。求めるのはスピードより正確さです。実際に可能なかどうか、本人の実務を含め職場環境はOKなのか、お互いに理解し合えるかどうかを判断しなければならなかったのですが、働いてもらいながら見せてもらいました。

採用を決めた理由は、入力業務が正確で、約束事もきちんと守ってくれる人だったからです。

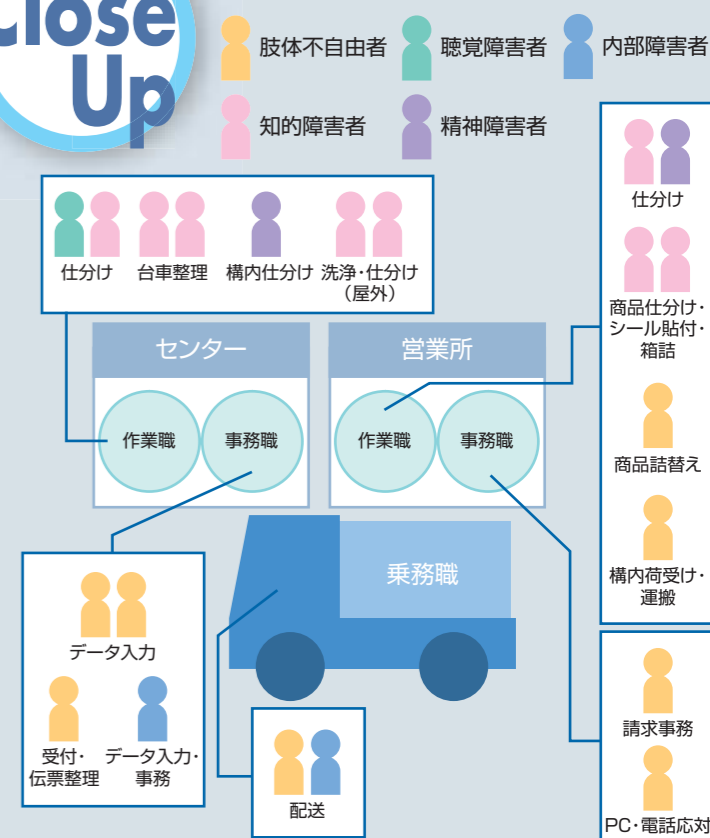
ただし、障害が原因でなにか不都合が起きる時には相談してもらって、話し合いましょうと言っています。駐車場の問題では、駐車場から歩く時に路面が凍結していると転ぶので、玄関口まで車できたいという要望がありました。幸いこのセンターには、障害者に配慮した駐車場もあり、設計段階でバリアフリーになっていますから、受け入れ時に特に付加するものはありませんでした。

### 企業プロフィール

所在地	広島県呉市
事業所数	本社、営業所、センター等50カ所
常用雇用者数	1,367名
雇用障害者数	21名（乗務職2名、作業職13名、事務職6名）



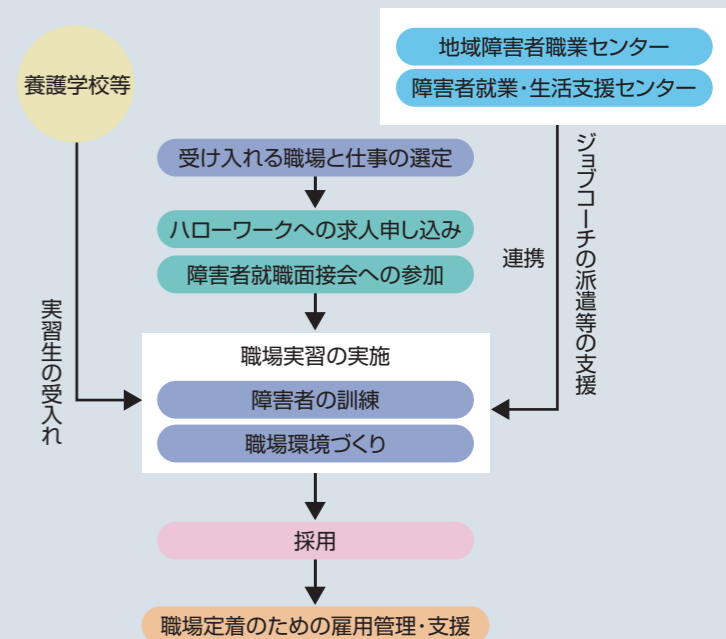
障害者の職務内容（本社と全国の共配センター・営業所）



### 障害者就職面接会（合同面接会）

全国のハローワークでは、就職希望の障害者と障害者採用予定の企業が一堂に会し、面接の場を提供する障害者就職面接会（合同面接会）を開催しています。この面接会は、会場内に企業毎の面接ブースを設け、直接に多くの求職者と接触することが出来るので、人材確保のために積極的に活用したい制度です。

### Process 採用計画から職場定着までの流れ



「障害者雇用の近道は、事業所の中で仕事を見つけることです」と村田さんは言います。障害があってもできる仕事、例えば、事務業務はもちろん、商品を運ぶコンテナの洗浄や食品の賞味期限のシールを貼る仕事、在庫を持っていて、それを出荷する仕事、仕分けなどがあるセンターの業務のほうが、トラックの運送業務が主となる営業所よりは仕事が

見つけやすいそうです。

「私の体験では、知的障害のある人の場合、挨拶はきちんとできますし、手抜きはまったくありません。だから障害の程度に合った仕事を見つけさえすれば、問題なくやってくれます。実際の業務では、同じことを何度も言わなければならない場合もありますが、覚えてもらうまで、できるまで繰り返し言います。声掛けやコミュニケーションは大切です」

障害者が働く現場で仕事をした経験のある村田さんは、障害者の労働意欲の高さを肌で感じ、働きたいけれど働く場所がない現状をよく理解しています。本社の人事部に移ってから事業所やセンターに出張の機会がある時は、必ず構内（現場）を見て回ります。新しい事業所が開設される時などは、特に気をつけるそうです。

そして実際の求人には、やはり公共機関を利用します。ハローワークに障害者専用で求人票を出すのが理想だと言

います。面接時から地域障害者職業センターのカウンセラーや障害者就業・生活支援センターの支援員に同席してもらい、採用後もジョブコーチなどに相談しアドバイスを受けます。知的障害や精神障害など障害の種類、程度によっては、その仕事が管理者の考える以上のストレスになる場合もあり、適応などにトラブルが起こることがあります。ジョブコーチや支援員が、会社と本人の間に立ってくれますので、企業側の負担も軽くなります。

りました。

「障害者を雇用することでマイナスの要素が現れることについて心配される方もいると思いますが、適材適所、彼らが得意とする仕事についていけば、かえって良い影響が出ています。周りの従業員も自分たちも頑張らなければと思い、お互いに補おうとする雰囲気生まれています。現場で声をかけること、障害者の家族や支援員も含めてコミュニケーションを取り合うことは、長く働いてもらう上では重要なことです」と村田さん。

現在ムロオでは、全国に展開する事業所のさまざまな業務を、いろいろな角度から検討し、障害者を雇用できる仕事を掘り起こし、さらなる雇用の拡大を目指しています。



営業所回りは村田係長の大切な仕事

## 現場レポート2

呉営業所で幹線便の荷下ろし・仕分け・積み込みの夜間作業 沖田直基さん 知的障害B

### 職業前訓練を受けた後、ハローワークの紹介で採用されました



療育手帳を取得し、地域障害者職業センターで8週間の職業前訓練を受けた後、ハローワークの紹介でムロオに採用されました。職場体験を1ヵ月受けて、6年前に入社。夜間勤務の条件で勤務しています。

「勤務時間は午後11時から始まり、だいたい朝の5時くらいまでですが、幹線便の台数や交通事情によっては短かったりします。夜間業務で昼に睡眠をとるのが難しいです」

体調維持のために「ちゃんと食べて、きちんと睡眠をとる」という沖田さんは、口には出さなかったが、働くことが大好きなようにみえました。



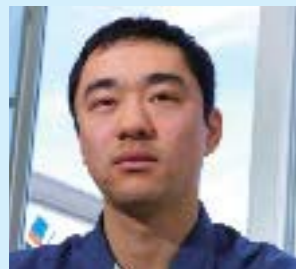
24時間稼働している呉営業所



2週間に1回通院している釜山さん

呉営業所で主に食料品の仕分け作業 星幸太郎さん 知的障害B

### 仕事は慣れているので楽しいです



沖田さんと同じく、ハローワークで職探しをしながら地域障害者職業センターで8週間の職業前訓練を受けて、平成12年にムロオに就職。勤務時間は9時から18時前後。「遅くなることもあります。それがちょっとつらいですが、仕事は好きです。（仕分けの）リストを見て仕分けしたり、食品の賞味期限を見たり、慣れているので楽しいです」

営業所へは、朝は母親が車で送ってきて、帰りはバスで、1人で帰るといいます。

「仕事が長く続けられることを願っています。将来、小型バイクの免許を取りたいと思っています」

## 雇用管理のポイント2

呉営業所



### 障害者が戸惑わないよう指示は決まった人から出すようにしています

営業所長代理 小栗貴之さん  
ここでの仕事は、納品先が多いので、仕分けミスや配送先の間違いが起こらないよう特に注意しています。構内作業では責任者に任せますが、よく目を配るよう言っています。彼らに指示する場合は特定の1人にしています。

彼らは興味のあることや任されている作業は一生懸命、集中してやります。われわれの業務は単純なものもありますが、重要な作業です。

周りの人とのコミュニケーションは、まったく変わりがなく取れています。会話も普通にしています。挨拶は普通以上ですし、手抜きがありませんね。

## 雇用管理のポイント3

郷原センター



### 障害者が働きやすいようカバーしています

センター長 宇都宮明伸さん

私はここに来て4年になります。この業務時間は7時から18時ですが、センターの仕事は忙しいときと暇なときのムラがあります。シーズン商品が重なる冬は特に忙しくなります。そんな時は事務の仕事を一りでこなしてもらっていますから、釜山さんの体調には気を使います。もちろん透析を優先してもらいますが、釜山さんが急に休むようになって、普段から伝票入力などは、全員が事前に釜山さんから教えてもらっていますから支障は出ません。体力的にきついときは出なくてもいいと言っています。釜山さんがいない時には、自分たちができることはやるようにしています。

## 現場レポート3

郷原センターで事務業務 釜山香里さん 腎臓機能障害1級

### 事務系の仕事はすべて任されています



ムロオには12年、このセンターでは7年勤めています。透析に行く時間があるので、パートに任されています。時間的に無理を聞いてもらいやすいからです。昨年血液透析から腹膜透析に変えて、通院は2週間に1回になりました。

勤務時間は10時から16時です。センターにはセンター長と私以外に4名の作業員がいますが、事務系の仕事は私がすべて行っているため、ある意味、私がコントロールしています。段取りをつけ業務に支障がないようにしていますが、急に体調が悪くなったり、やむを得ず休むようなことになったりしても、誰かが事務をできるように配慮もしています。

私自身のことで言えば、体調が悪い時には休ませてもらうのですが、家で1人、病気のことを考えているよりは、仕事をしている時のほうが気持ちに張りがあります。